



受付番号	工試第U-2009020***-20230800***
受付日	20**年 *月 *日
発行日	20**年**月**日

***** 殿

一般財団法人 建材試験センター
 工事材料試験所長
 芭蕉宮 総一郎
 浦和試験室
 〒338-0822 埼玉県さいたま市桜区
 中島2丁目12番8号
 電話番号 048(858)2790
 試験監督者 藤巻敏之

1. 試料（依頼者提出の資料による）

種類	RC-40
製造工場	*
採取日	-
用途	*

2. 試験内容

試験方法	JIS A 5001 道路用砕石 5.2 粒度試験 JIS A 5001 道路用砕石 5.3 絶乾密度及び吸水率試験 JIS A 5001 道路用砕石 5.4 すりへり減量試験 JIS A 5001 道路用砕石 5.5 塑性指数 JIS A 1203 土の含水比試験方法 JIS A 1104 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法 建設図書“アスファルト舗装に関する試験”軽装単位体積重量 アスファルトコンクリート混入率は、再生処理材を5mmふるいでふるい分け、残留した試料からアスファルトコンクリートを目視によって選別し、質量比で示した。 (公社)日本道路協会 “舗装調査・試験法便覧” E001 ①修正CBR試験方法
試験期間	20**年 *月 *日
試験場所	浦和試験室
試験担当者	*

3. 試験結果

粒度試験					
※1	通過質量百分率 %				
ふるい目の寸法 mm	53 (50)	37.5 (40)	19 (20)	4.75 (5)	2.36 (2.5)
測定値	*	*	*	*	*
※2 規格範囲	100	95~100	50~80	15~40	5~25
備考	※1 ()内は各ふるい目の公称寸法 ※2 RC-40の規格粒度範囲 粒度試験結果(粒度曲線)を図-1に示す。				

試 験 項 目		1	2	平 均
密 度 g/cm^3	表	乾		
	絶	乾		
吸 水 率		%		
す り へ り 減 量		%		
塑 性 指 数 (P. I)	液性限界 ※1	%		
	塑性限界	%		
	塑性指数 ※2			
アスファルトコンクリート混入率		%		
備 考	※1 試験結果においてその性状が認められない場合は、NP (non-plastic)とする。 ※2 液性限界若しくは塑性限界が求められないとき、又は液性限界と塑性限界に有意な差がないときは、NPとする。			

試 験 項 目		1	2	平 均
単 位 容 積 積 験 質 量 試 験	軽装単位容積質量	kg/L		
含 水 比		%		
備 考	試験は、自然含水比状態の試料を用い、以下の条件で行った。 ・軽装単位容積質量は、J I S A 1 1 0 4に規定された10L容器を用い、 締め固めを行わず試料をスコップによって容器に流し込み、試験を行った。			

修正 C B R 試験										
共通項目	試料の準備方法				乾燥法					
	試料の使用方法				非繰返し法					
最適含水比 測定試験 92回/層 (3層)	平均含水比								#REF!	
	%									
	乾燥密度								#REF!	
	g/cm^3									
	最適含水比 %									
	最大乾燥密度 g/cm^3									
C B R 試験	突固め回数	番号	乾燥密度	4日水浸後の	C B R 値					
			g/cm^3	吸水膨張比	(5.0mm貫入時)					
				%	%					
	92回/層(3層)	1								
		2								
		3								
		平均								
	42回/層(3層)	1								
		2								
		3								
平均										
17回/層(3層)	1									
	2									
	3									
	平均									
	修正 C B R % ※		41							
備考	※ 最大乾燥密度の95%の時の値。 乾燥密度-含水比曲線及び乾燥密度-CBR曲線を図-2に示す。									